



平成28年3月23日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社  
代表者 代表取締役社長 上東 洋次郎  
(コード番号：6418 東証1部)  
問い合わせ先 取締役上席執行役員  
経営企画本部長 高垣 豪  
電 話 (06) 6703-8400 (代表)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	31,200	1,900	2,000	1,400	51円89銭
今回修正予想 (B)	29,800	1,390	1,020	340	12円60銭
増減額 (B) - (A)	△1,400	△510	△980	△1,060	—
増減率 (%)	△4.5	△26.8	△49.0	△75.7	—
(ご参考)前期実績	27,917	1,285	2,166	1,486	55円11銭

#### 2. 業績予想の修正の理由

当期における当社グループの業績は、買収した北米でのプリンター事業が、買収時の計画通りの業績を達成するなど、海外ゲーミング事業は安定した業績を確保しております。一方、国内事業においては、コマース事業（金融流通市場向け）の受注が減少するとともに、遊技場向機器事業では、娯楽の多様化や遊技機規則改正などによる影響もあり、厳しい状況が続いております。

利益面では、国内事業の減収による減益要因に加え、欧州事業での米ドル建仕入ユーロ建売上取引に係る、米ドル対ユーロの為替相場が、急速にユーロ安（期初1ユーロ=1.22米ドルに対し、平成27年12月末1.09米ドル、約11%のユーロ安）に変動したため営業利益の減益要因になったことや、本年1月以降の円高に伴い、国内の外貨建資産の為替時価換算差損を営業外費用に計上する見通しであります。なお、期末日の米ドルレートは113円を想定しております。

以上のことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、通期の予想値を修正いたします。

当社グループは、2010年3月期を底に業績の回復基調にありましたが、国内外の市場環境は依然、不透明で、業界内での競争も更に激しくなることが想定されることから、再度、収益基盤の見直しに取り組むとともに、「中期経営計画」ローリングプラン(Ⅱ)の重点施策にあります、迅速な事業展開が可能なグループ体制の事業基盤の再構築に向け、取り組みを加速してまいります。

なお、期末の配当金につきましては、期初予想通りに、1株当たり8円50銭（通期17円）を予定しております。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。